

特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-P322

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
詳細機能については弊社ホームページをご覧ください。

ニッケル水素充電池EBP-179をご利用になる際は、減電池表示を正しく機能させるためセットモードの電池選択項目をni(ニッケル水素)に設定してください。

アルインコの製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。
本製品の機能を十分に発揮させ効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますので大切に保管してください。また補足シートや正誤表などが入っている場合は合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。



アリインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4 日本橋ラザビル14階 TEL03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10-19 サンエイビル4階 TEL052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4-9 淀屋橋ダイビル13階 TEL06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-34 エコピール2階 TEL092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル 020 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間 / 10:00~17:00(月曜~金曜/祝祭日及び12:00~13:00は除きます)
ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> > 事業案内 > 電子事業部 をご覧ください。

使用前のご注意

■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たる場所は避け、ご使用ください。

■分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁ずられています。分解したり、内部を開けたりすることは絶対にしないでください。

■禁止場所

本製品は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使わないでください。

(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など)

本製品を使用できるのは日本国内のみです。国外では使用できません。

This product is permitted for use in Japan only.

■第三者による傍受

電波を使用している関係上、無線機器の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を守るために重要な通話を使用することができます。

■グループトーク機能について

付属の保護キャップまたは弊社指定の純正防水アクセサリーを本体に装着することでIP67相当の防じん防水になります。ただし、常に水しぶきや海水、油脂、薬品がかかる環境や鉄粉が飛散するような環境での使用で発生する不具合については保証しておりません。また、全ての製品を出荷前に検査してその性能を保証するものではない「相当品」ですので、水没、流水での洗浄は絶対におやめください。濡れたときは乾いた布で手早くふき取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。防水素材は時間が経つと劣化しますので、弊社では外郭保護性能についても製品と同じ保証期間とさせていただいております。

■バッテリーセーブについて

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるかとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作中に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限(3分以上は連続で送信できません)

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。中継通信の場合も連続した中継動作が3分を超えるとタイムアウトします。

注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

安全上のご注意

本製品を正しく安全にご使用いただき、使用者や他人への危害や財産への損害を未然に防止するために必ずお読みください。誤った使い方で生じる内容を図記号と共に説明しています。その表示と意味は次のようにになっています。

表示	表示の意味
警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

*重傷とは、けが、やけど、感電、骨折などの障害で入院や長期通院したり、後遺症が残ったりするものを指します。

*傷害とは、治療や入院や長期通院の必要がないけが、けが、感電などを指します。

*物的損害とは、家屋、財産、家畜およびベッドなどにかかる拡大損害を指します。

表示	表示の意味
警告	注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。
注意	行為の禁止であることを告げるものです。

天災や人災、不測の故障などで生じた損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらじめご了承ください。

警告

■ 使用環境・条件

本製品を使用できるのは日本国内のみです。
国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

本製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障、誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

本製品同士、または他の無線機器と共に至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障、誤動作、不具合の原因となります。

本製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作、不具合が生じても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障、誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障、誤動作する原因となります。

病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとで使用ください。無線機器を使用したことによって、いかなる誤動作、不具合が生じても弊社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

第三者の通信を聞いて知り得た情報を無断で他人に話したり、公開したり、悪用する電波法が定める通信の秘密保護条項に違反して罰せられます。

お客様による修理は違法ですから、絶対におやめください。

■ 本体が熱くなったり、煙が出たとき。

■ 保守・点検

本体や充電器のケースは、開けないでください。
けが、感電、故障の原因となります。内部の点検・修理はお買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。

注意

■ 使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えると、受けたりすることがあります。

電波を使用している関係上、無線機器の通話は第三者による傍受を完全に阻止することができます。無線機器を使用したことによって、いかなる誤動作、不具合が生じても弊社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本体が熱くなったり、煙が出たとき。

■ 异音や異臭がしたとき。

■ 落としたり、ケースを破損したりしたとき。

■ 内部に水や異物が入ったとき。

■ ACアダプターのコードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

■ 雷が鳴り出したら安全のため本体の電源を切り、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■ 本体が熱くなったり、煙が出たとき。

■ 保守・点検

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。

ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使ったと/orや文字や色を変えるおそれがあります。

洗剤などを直接無線機に吹き付けてください。機器内部に浸透し故障の原因となります。

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切り、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

技術基準適合証明ラベルおよび製造番号ラベルをはがさないでください。

製造番号がわからず保証サービスをお受けいただけません。

リフレッシュをおこなっても、ニッケル水素充電池の使用時間が著しく短い場合は寿命がついたものと思われます。新しいものにお取り替えください。

キャリアセンス(受信中は送信できません)

一定の強さ以上の信号を受信しているときはPTTキーを押しても送信できません。

受信中にPTTキーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ピーピ音量(操作音)をOFFに設定しているときは、アラーム音は鳴りません。

付属品と取り付け方

付属品をご確認ください。

ロベルトクリップ EBC-58(ネジ1本)

口取扱説明書(本紙)

口保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

ベルトクリップの取り付け、取り外し

本製品はベルトクリップを出荷状態で取り付け済みです。取り外す際は、ネジを取り外します。(プラスドライバーNo.2をご用意ください。)

ベルトクリップを取り付ける際は付属品以外のネジを使用しないでください。無線機本体が破損します。

定期的にネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペア一部品として販売していますのでお買い求めの際は販売店にご相談ください。

ベルトクリップ(ネジ付き) EBC-58

メモ ベルトクリップを使って装着する際は、ベルトクリップで体の横、または背中に固定してください。イヤホンマイクは引っかからないようになるべく背中を通して、余分な長さを束ねてください。

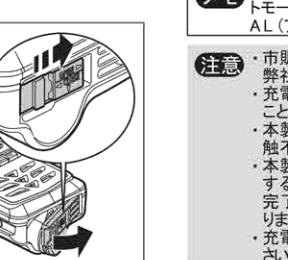
濡れたときは乾いた布で手早くふき取り、電池を取り抜いて内部をよく乾燥させてください。防水素材は時間が経つと劣化しますので、弊社では外郭保護性能についても製品と同じ保証期間とさせていただいていることがあります。

電池の入れ方

単三乾電池またはオプションのニッケル水素充電池(EBP-179)を装着します。

①カバーを開ける

ロックレバーをOPEN ▷ 側へスライドさせながらカバーを開けます。



■ トランシーバー本体の取り扱いについて

本製品は調整済みです。特定小電力無線機器をユーザーが分解、改造、修理することは法律で禁止されています。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり中に入ったりした場合、火災・感電・故障の原因となります。

イヤホンを使用するときはあらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因となることがあります。

本製品は防爆構造ではありません。引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。静電気など発火事故の原因となります。

■ 充電器の取り扱いについて

指定以外での電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。過熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差しないでください。感電の原因となります。

■ 异常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を切り、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。

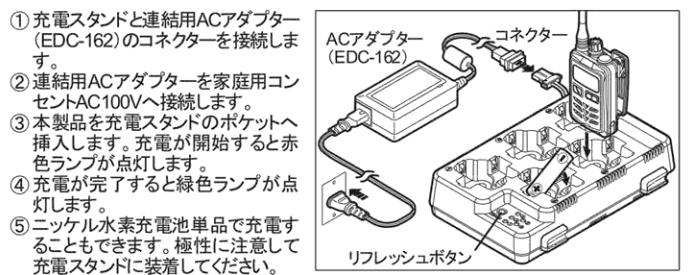
充電器のACアダプターの刃に、ホコリが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災・感電・故障の原因となります。

電源が鳴り出したら安全のため本体の電源を切り、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

■ トランシーバー本体の取り扱いについて

5連充電スタンド(EDC-312R)の使用方法

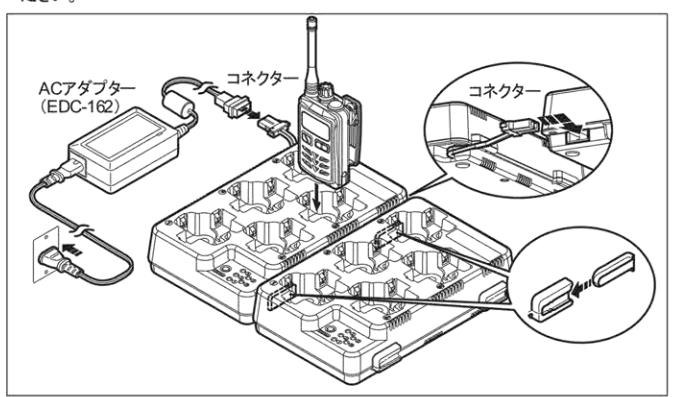
1台の充電器で最大で5台を同時に充電できます。



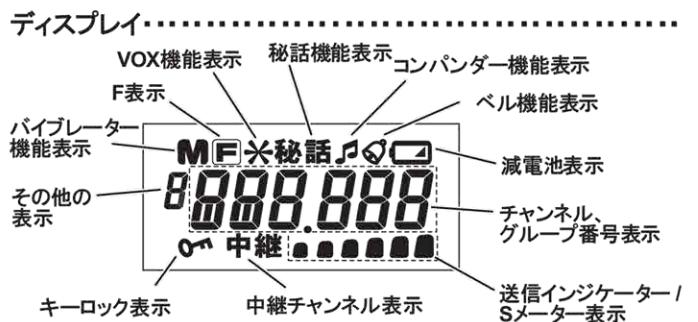
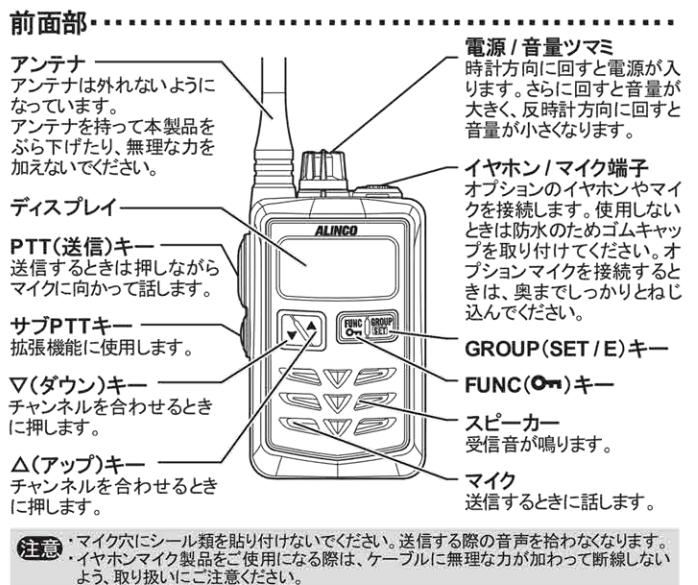
5連充電スタンド(EDC-312R)の連続使用方法

5連充電スタンドを2台接続し、最大で10台を同時に充電できます。

- ①充電スタンド背面のコネクターを接続します。
- ②充電スタンド同士を接続します。
- ③一端の充電スタンドと連結用ACアダプターのコネクターを接続します。
- ④連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
- ⑤ニッケル水素充電池単品で充電することもできます。極性に注意して充電スタンドに装着してください。
- ⑥充電が完了すると緑色ランプが点灯します。
- ⑦スタンダードの連結を切り離す場合は、断線を防ぐために先に背面のコネクターを抜いてください。



各部の名前とはたらき



基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。

本書に記載していないカスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。<https://www.alinco.co.jp/> > 製品情報 > 通信技術 > ダウンロード > 特定小電力無線機ダウンロード

キー操作

「キーを押す」とは、キーを押してすぐに放すことを指します。
「キーを長押しする」とは2秒間押し続けることを指します。
「Aキーを押しながらBキーを押す」とは、Aキーを押している間にBキーを押してすぐに放すことを指します。

交互通話

電源を入れる

電源 / 音量ツマミを時計方向に回します。



音量を調整する

電源 / 音量ツマミを時計方向に回すと、音量が大きくなります。反時計方向に回すと、音量が小さくなります。ツマミに表示された数字(1~8)が大きいほど音量が大きくなります。

チャンネルを合わせる

レジスター、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。

L表示はレジータイプ : L01 ~ L09 | b表示はビジネスタイプ : b01 ~ b11

L表示のチャンネルでは、従来のレジスター(9チャンネル機)と通信できます。b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ(11チャンネル機)と通信できます。

△または△キーを押して交互通話用チャンネルのL01 ~ 09、b01 ~ 11を選択します。通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

メモ 既に運用しているグループに本製品を追加導入する際は、別紙のACSIIモードを使用するとチャンネルとグループ番号が自動で設定できます。

受信する

信号を受信するとスピーカーやイヤホンから相手の声が聞こえます。ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

メモ 本製品にはテールノイズキャンセラ機能を搭載しており受信終了時の「ザツ」というノイズが低減されています。本機能を搭載した弊社機器間の通話においてのみ有効です。

送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。一送信インジケーターが点灯します。[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。[PTT]キーを放すと受信待ち受け状態に戻ります。

注意 一定の強さ以上の信号を受信しているときはキャリアセンスが働き、「ブブ」という警告音が鳴り送信できません。受信信号が無くなり、Sメーターが消灯すると送信できます。ビープ音量(操作音)をOFFに設定しているときは、警告音は鳴りません。

中継通話

直接の通信では電波の届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途、弊社の中継器が必要です。

チャンネルを合わせる

レジスター、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

L表示はレジータイプ : L10 ~ L18 | b表示はビジネスタイプ : b12 ~ b29
9チャンネル

△または△キーを押して中継通話用チャンネルのL10 ~ 18、b12 ~ 29を選択します。
→「中継」が点灯します。

送信する

[PTT]キーを押し続けます。直後に「ピピ」という音が鳴ります。
[PTT]キーを押しながらマイ克に向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認ください。中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本製品にもグループトーク機能を設定してください。

注意 中継用チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。子機-中継器間、子機-子機間は10m以上離してください。

コールトーン機能

送信中に△または△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。△と△キーでは音色が異なります。

注意 送信用チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。

子機-中継器間、子機-子機間は10m以上離してください。

グループトーク機能

同じグループの人だけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

[GROUP]キーを押す

→グループ番号が点灯します。



グループ番号を合わせる

[FUNC]キーを押しながら△または△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。グループ番号は01番から50番を選択できます。初期状態は01番に設定されており一般的によく使用されています。混信を避けるため01番以外に設定することをお勧めします。

注意 [FUNC]キーを押しながら△または△キーを押して下さい。[FUNC]キーを長押しするとキーロックになります。



その他の機能

ACSHモード

既に使用しているトランシーバーのチャンネルとグループ番号をスキャンして検出し、本製品に同じものを自動設定する機能です。ACSHモードの使い方については別紙の「すぐにつながるACSH(アクシ)機能」を、詳細な説明については弊社ホームページをご覧ください。

本書に記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。<https://www.alinco.co.jp/> > 製品情報 > 通信技術 > ダウンロード > 特定小電力無線機 ダウンロード

拡張機能	機能 説明
デュアルオペレーションモード	メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話できるモードです。
リモコンモード	本製品をリモコンとして、中継器(別売 DJ-P101R、DJ-P113R、DJ-P114R、DJ-U3R)のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。
連絡中継子機	連絡中継システム(別売 DJ-P113R)にアクセスする子機モードです。
エアクローム	機器間で設定内容を無線伝送する機能です。

故障とお考えになる前に

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。 電池の残りが少ない。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。
音が出ない。 受信できない。	音量が低すぎる。 相手とチャンネルが違う。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。
送信できない。	相手と距離が離れている。	通信距離を自らに通信してください。
信号を受信している。 3分の通信時間制限を超過している。	信号がつながってから送信してください。	PTT(送信)キーを放し、2秒経過してから送信してください。
キー操作できない。	キーがロックされている。	キーを解除してください。
充電できない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを取り除いてください。
	充電池が劣化している。	新しい充電池に交換してください。
	充電池が専用池でない。	専用充電池EBP-179を使用してください。

処置を施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池の残りが少ないと誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後5年間は補修用部品を在庫しています。
不測の事態で欠品した場合には保守ができないことがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EBP-179	ニッケル水素充電池	EDC-311A シングル充電器セット(ACアダプタ付属)
EDC-311R	連絡充電スタンド(連結ケーブル付属)	EDC-312R 5連充電スタンド(別売 EDC-162が必要)
EDC-162	連絡充電用大容量ACアダプター	EAE-32A イヤホンマイク カナル型
EAE-48A	ストレートコードイヤホン 耳かけ型	EAE-58 イヤホンマイク カナル型
EAE-62A	喉掛けイヤホンマイク カナル型	EAE-63A ヘルメット用ヘッドセット
EAE-64A	ヘッドセット	EAE-70A イヤホンマイク カナル型
EAE-654MA	イヤホンマイク オープンエア型	EAE-764MA イヤホンマイク オープンエア型
EAE-662	スピーカーマイク IP67相当	EAE-764MA イヤホンマイク オープンエア型
EAE-71	スピーカーマイク IP67相当	EAE-764MA イヤホンマイク オープンエア型
EAE-58	ベルクリップ(ネジ1本付属)	EAE-14 ブラケットクリップ

* スピーカーマイクはPTTホールド、VOX機能、コールバック機能をご使用になれません。

定格

送受信周波数	レジータンネル	422.2000 ~ 422.3000MHz
	ビジネスチャンネル	421.8125 ~ 421.9125MHz 440.2625 ~ 440.3625MHz
制御チャンネル	F3E(FM) / F1D(FSK)	422.0500 ~ 422.1750MHz 421.5750 ~ 421.7875MHz
	送信出力	10mW / 1mW
受信感度	-14dB (12dB SINAD)	60mW以上(内部スピーカー、外部出力)
	音声出力	60mW以上
通信方式	単信、半複信	
	定格電圧	DC1.5V(単三形電池1本) / DC1.2V(EBP-179使用時)
消費電流	送信時: 約150mA	
	受信定格出力時: 約200mA	
バッテリーセーブ時	約20mA	
	バッテリーセーブ時: 約20mA	
動作温度範囲	-10°C ~ +50°C (充電は0 ~ +40°C)	
	高さ74.8mm × 幅46.8mm (突起物除く) 電池収納部の突起除く厚さ20.3mm(厚さ最大27.7mm)	
寸法	L: 約164.5mm	M: 約74.3mm
	W: 約25.5mm	H: 約35.5mm
アンテナ長	L: 約92g (ベルクリップ含む、電池除く)	M: 約84g (ベルクリップ含む、電池除く)
	W: 約25.5mm	H: 約35.5mm
質量	L: 約92g (ベルクリップ含む、電池除く)	M: 約84g (ベルクリップ含む、電池除く)
	W: 約25.5mm	H: 約35.5mm

仕様、定格は予告なく変更する場合があります。